

【2023年度】児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表年月	2024年2月	事業所名	ハッピーライフいくの
------	---------	------	------------

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		子どもが安全に活動できるよう利用定員を遵守している。	
	2 職員の配置数は適切である	○		支援の質を確保できるように職員を配置しています。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		事務所(ビルの3階)までエレベーターまで上がる事が出来ます。情報伝達に関しては、視覚支援資料を使用しています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎日の清掃を欠かさず行い、児童が安全に過ごせる環境作りを行っています。新型コロナウイルスの感染対策として、消毒、換気を徹底して行っています。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		朝礼で全職員に周知し、都度、目標と改善を話し合っています。	日々、気づいたことは終礼、話し合いを行っていきます。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		アンケート調査を実施し、業務の振り返りを行っています。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページに公開しています。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者評価は実地しておりません。法人内でチェックを行い、改善に繋がっていきます。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		社内研修の実施や外部研修などに参加するなどし、質の向上に努めています。	研修等に参加できる機会を作っていきます。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		年に2回、モニタリングや保護者様のニーズを聞き取りを実施しています。その情報を元に、個別支援計画書の作成を行っています。	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		事業所共通のアセスメントシートを活用しています。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		個別支援計画を具体的な内容で検討、作成し計画を基に支援を行っています。	

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		児童の現状に合わせて支援内容を設定し、計画に沿って支援を行っています。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		毎月、指導員同士で話し合いを行い、立案をしています。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		マンネリ化にならないよう活動内容を考えながらしております。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		集団活動への参加を軸にしなが、個別の活動も取り入れて計画を作成しています。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		始業後に朝礼を行い、その日の打ち合わせ、児童の支援などに関する意見交換を行っています。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終業前に終礼を行い、児童の様子や気づきなどを振り返り、共有しています。	
関係機関や保護者との連携	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		一日の活動終了後に個人記録を作成し、支援の改善等に繋がっています。	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的に児童のモニタリング会議を開催しています。	
	21 障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		必要に応じて、担当者が会議に参加しています。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		関係機関密に連絡を行っています。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○	現在はいません。	
24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○	現在はいません。		

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	25	○		現在保育園のお迎えが居ていないので受けていません。 支援学校に関しましては情報共有はしています。	
	26		○		今後、情報共有を行います。
	27	○		コロナが収まっているので、横の連携を取っています。	
	28		○		コロナが収まって来ているのでイベント等で今後、交流を増やしていきたい思います。
	29	○		コロナが収まっているので参加をしている所です。	
	30	○		送迎時に保護者様と報告事項伝え、密に伝達をしております。	
	31		○		ご家族に寄り添う支援を意識しているがペアレント・トレーニング等は実施していません。
	32	○		契約の際に説明しています。	
	33	○		作成時に同意を得ています。	
	34	○		相談や困っている際は真摯に受け答えを行い助言を行っています。	
保護者への説明責任等	35		○		コロナが収まっているので今後父母と一緒に活動をする予定になっております。
	36	○		できる限り迅速に対応できるようにチームで連携をしながら努めています。	

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	37	○		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	連絡事項に関しましては、面談を通しています。
	38	○		個人情報の取扱いに十分注意している	個人情報を十分に注意し取り扱っています。
	39	○		障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	お便り等に、読み仮名を書いています。
	40		○	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	コロナが収まっているので、交流を増やしていきたいと思います。
非常時等の対応	41	○		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	マニュアルを作成しており、訓練も随時行っている。
	42	○		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	訓練を随時行っている。
	43	○		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	契約時や面談時に随時確認している。
	44	○		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	指示書がある場合はその対応をしている。家庭での対処方法を聞き、保護者情報交換をしながら行っている。
	45	○		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	終礼の時に話し合い、ヒヤリハットだと思われる事象に対して記入している。
	46	○		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	研修の機会を設けている。
	47	○		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	保護者説明を行い同意を得たうえで、やむを得ない身体拘束を行った場合には記録をしている。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。